

ファッションビジネス学会

総 会 資 料

2024・5



The Japan Society for
Fashion Business

2024年度 ファッションビジネス学会 定期総会

2024年度 ファッションビジネス学会 定期総会によせて

会長代行 岡本 義行

コロナが終息して以前のように定期総会が開催できる環境に戻りました。しかし世界と日本の状況はかなり変わってしまいました。ウクライナの戦争の終わりは見えません。パレスチナの導火線はどこまで広がるのか。火種が広がり不安定な世界で、世界の構造は変わりつつあります。

インドが世界一の人口を抱える国になります。中国の人口減少や経済の行き詰まり、そして日本の顕著な停滞など、世界の経済構造や市場構造は大きく変化しています。いうまでもなく、ファッション市場は豊かな経済のもとで拡大します。そうした経済活動の基盤を無視しては、産業は成り立ちません。日本のこれだけの人口減少は市場の急速な縮小を招きます。日本の経済成長は成長する市場と結びつく必要があります。

またchat GPTなど生成AIの発展・普及によって個人の技能だけではなく、大きな社会変革も予想されます。日本経済再生の起爆剤となるかもしれません。

本ファッションビジネス学会は設立以来、組織構造や運営方法を変えることなくやってきました。しかし、大沼会長と濱田会長の時代のような吸引力と資金力はもはや維持できなくなり、通常の学会組織へ軟着陸する必要があります。組織と運営体制の根本的見直しに取り組まざるを得なくなりました。具体的には、「活性化5ヵ年計画」が策定され、現在実施途上にあります。これは部分的な修正ですが、今後さらに、本学会の活性化には、さまざまな面で会員各位の協力と尽力が求められます。さらに会員増及び各種活動の強化に取り組む必要があります。会員各位にご参加いただき議論を深めていきたいと考えております。

現在、2030年に向けたファッション提言を作成中です。輸出競争力を持つファッション産業への再生に向けたアイデアや技術を世界に発信したいと考えております。ファッションビジネスがより発展する地域と連携して、生成AIを活用、日本の伝統を引き継ぐイノベーションに向けて、学会の研究能力および発信力を高める仕組み作りと活動を進めて参りましょう。

定期総会	総会 第1号議案 2023年度事業報告と決算承認の件 第2号議案 2024年度事業計画と予算承認の件 第3号議案 2023年度活性化活動結果と2024年度活性化計画の件 第4号議案 運営規約の一部改正について 第5号議案 役員並びに名誉会員名簿
特別講演会	特別講演 テーマ：世界を導くデザインとは —未来を“測る”から“創る”へ— 講師：未来予報株式会社 代表取締役 / Futurist 宮川 麻衣子 氏

ファッションビジネス学会 定期総会

第1号議案

2023年度 事業報告と決算承認の件

(2023年4月1日～2024年3月31日)

事業報告

1 2023年度定期総会と特別講演会

2023年5月13日(土)にオンラインリモートにおいて開催され、各議案がそれぞれ承認された。

- 第1号議案 2022年度事業報告及び決算承認の件
- 第2号議案 2023年度事業計画及び予算承認の件
- 第3号議案 2022年度活性化活動結果及び2023年度活性化計画の件
- 第4号議案 運営規約の一部改定の件
- 第5号議案 役員並びに名誉会員名簿の件

総会後には以下のとおりオンラインリモートによる特別講演会を実施、学会及び業界の今後を示唆する大変貴重な講演会となった。

テーマ：「新・ラグジュアリー」
— 倫理、ローカル、ヒューマニティから始まる新しい文化 —
講師：服飾史家 中野 香織 氏

2 2023年度全国大会の開催

2023年11月18日(土)、本部の主催において創設30周年記念の「Value Change — 知の新機軸 —」をテーマとした全国大会が対面形式において開催された。

「2030に向けたファッションビジネスと人材に関する提言」をテーマとしたシンポジウムから口頭研究 発表・ポスタープレゼンテーション、交流パーティーまで、260名におよぶ参加者により盛会のうちに終了した。

全体研究発表53報（口頭発表50報、展示発表3報）

本部研究発表 口頭発表27報

3 論文誌発行

デジタル版への切り替え初のVol.28を2023年9月に発行した。

4 FBアワードY2023

学生の育成支援、学生会員確保を目的に昨年度から実施した学生を対象としたファッションビジネス企画コンテスト。2023年度は5月からの募集に131チーム435人が応募、その中から一次審査によって選出された10チームが8月5日のオンラインによる最終審査会に挑み、上位3チームが決定した。

5 研究部会活動 *順不同

関東エリアと関西エリアの研究部会の報告。

■関東エリア 13研究部会

研究部会名	服装社会学研究部会
部会長/代表	田中 里尚
メンバー	約123名
活動結果	報告：時代やメンバーが変容するにしたがって、服装社会学研究部会の存在意義や目的についても変化せざるを得ないという認識のもとで、事務局および代表者にて、部会の存在理由、活動目的、活動内容に関する協議を複数回行った。その上で、新たな時代に合わせて、研究部会の仕立て直しが必要だという共通認識に達した。来年度は、こうした認識のもと、新たな展開を目指すこととする。
活動予定	予定：10～11月ごろ・リソースセンターと共同での企画展示・「エフェメラ研究におけるファッション史資料論の新展開」（仮）・企画展での発表開催予定

研究部会名	戦略研究部会
部会長/代表	首藤 眞一
メンバー	35名
活動結果	2月：勉強会 対面及びオンライン開催 「ファッションビジネスにおけるNFTの活用」 講師：株式会社ジョイファ 代表取締役CEO 平手 宏志朗 氏 10月：研究会 対面開催 「アパレルECにおける動画コンテンツに関する一考察」 発表者：文化ファッション大学院大学 荒川 京子 「デジタル時代のファッションビジネスに関するセキュリティについての一考察」 発表者：文化ファッション大学院大学 山岡 真理 「ラグジュアリーブランドにおけるコラボレーション戦略に関する研究 ―マンガ・アニメとのコラボレーションを中心として―」 発表者：文化ファッション大学院大学 宋 玉琨

活動結果	1月：研究会 対面開催 「リアル店舗の役割の変化に対する考察 ―マーチャンダイジングの視点から―」 発表者：文化ファッション大学院大学 田畑 祐一 「持続可能なファッション業界の実現に向けた人々の意識・行動変容に関する考察」 発表者：文化ファッション大学院大学 市川 智美 「ファッションブランドによるデジタルコミュニケーションの現状」 発表者：文化ファッション大学院大学 春日 友里 2月：勉強会 対面開催 「ステマ規制とグリーンウォッシングにおける実務上の留意点」 講師：三村小松法律事務所 弁護士 海老澤 美幸 氏
活動予定	2024年7月 研究会 戦略研究部会メンバーによる基調報告 2024年10月 研究会 戦略研究部会メンバーによる基調報告 2025年2月 勉強会 ゲストスピーカーを招いた勉強会

研究部会名	IT時代のファッションビジネス研究部会
部会長/代表	熊崎 高道
メンバー	5名
活動結果	* ファッションビジネスをAIを使って企画表や生産表、販売企画表など作成方法を研究。 企画表、生産表、販売企画表の作成 分析結果をもとに、AIは企画表、生産表、販売企画表を作成します。これにより、最適な商品ラインナップを提供することができます。 * AIによるファッション業界と大学での活用の仕方を研究。 商品のデザインや生産の最適化 AIを使用して、商品のデザインや生産プロセスを最適化することができます。例えば、商品のデザインをAIが最適化することで、より効率的かつ高品質な商品を生産することができます。 * AIを使った電子書籍の販売の仕方を研究 ソーシャルメディアを利用して、AIによるターゲティング広告を活用し、ターゲット層に向けた書籍の販売を行うことができます。また、インフルエンサーやブロガーと提携して、その影響力を利用した販売促進を行うこともできます。 * ファッション関連の電子書籍（熊崎高道著）は、日本、アメリカで拠点があり全世界に向けて販売しています。 オンライン書店や出版社のウェブサイト、または電子書籍販売サイトなどを通じて購入することができます。日本やアメリカをはじめとする国々で、配信が行われているため、全世界からアクセス可能です。
活動予定	前年度からのテーマで引き続き活動 IT時代のファッションビジネス研究部会は、ITでAIを使った最新の情報で研究活動実施していく予定です。現代のデジタル機能の進化でファッションを取り巻く環境がますます多様化しています。特に、AIが変化していく中で、学際的な研究考えて、新しい情報がどのように展開していくか研究中です。

研究部会名	アパレルリサイクル研究部会
部会長/代表	井口 多恵子
メンバー	10名
活動結果	活動結果なし
活動予定	アップサイクルのプログラムについての内容を検討する

研究部会名	ユニバーサルファッション研究部会
部会長/代表	杉野 公子
メンバー	5名
活動結果	FashionGood 研究部会と共催で、下記のオンライン研修会を開催 11月24日(金) 日本女子大学 名誉教授 大塚 美智子 先生 「衣料サイズJIS改正 ―新JISにおける変化と期待―」
活動予定	リファッション研究部会と共同で、ユニバーサルファッションの付属ブックを作成する。

研究部会名	ファッション産業史研究部会
部会長/代表	福永 成明
メンバー	15名
活動結果	12月 対面式の研究部会（111回目）を再開 ・小山田部会長から部会長退任の申し入れ ・福永成明氏に参加者から推薦があり、同氏に交代 ・今後の活動についての協議 1月 対面式の研究部会（112回目）を開催 ・ケンブリッジ大学の論文「テクノロジーを基盤としたファッションシステムの形成 1945-1990年：日本のアパレル企業の競争力喪失の源泉」に関する討議。 ・「ファッション産業史」の教材用テキストにできないか、との提案。 ・年表にもとづく歴史的事象の抽出などの研究との提案。 ・新規会員の募集について。
活動予定	できれば毎月の開催を目指し、テーマを設定し、それにもとづいた活動を行っていく。

研究部会名	リファッション研究部会
部会長/代表	木田 豊
メンバー	10名

活動結果	・2023年10月・中央区環境保全ネットワーク主催「子供とためす環境まつり」のワークショップに当研究部会が活動を通じて育成してきた「リクチュール塾修了生」を中核とするメンバーが「こどもリクチュールくらぶ」というチーム名で参加した。 ・2024年3月24日 SDGSを実践する女性を講師に招き「共感セッション」というセミナーを開催。この行事運営に実行委員として5名が参加活動した。
活動予定	・5月・研究部会開催（於：東京家政大学）、ポストコロナの活動の環境変化を再構築するため幹事交代 活動内容の再検討を行う。 ・SDGsの浸透が進み環境活動が非常に幅広くなってきたので、今まで以上にFB学会他研究部会や外部研究団体 外部活動団体との連携を強化する。

研究部会名	+10Y研究部会
部会長/代表	篠崎 友亮
メンバー	20名
活動結果	FashionStudies®（ファッションスタディーズ）との共催の研修会を22回開催した。 ①テーマ：ローカルなプロモーションの可能性 ハタオリマチフェスティバル 富士吉田市の事例から 日 時：2023年4月10日(月) 19時開催 ②テーマ：ファッション企業のための補助金・助成金の申請のいろは 日 時：2023年4月17日(月) 19時開催 ③テーマ：2023年秋冬 東京コレクションを振り返る 日 時：2023年4月22日(土) 14時開催 ④テーマ：服のアーカイブ化について 実物・デジタルの双方から考える 日 時：2023年4月25日(火) 19時開催 ⑤テーマ：ゴルチエ・フリーク・トークショー 日 時：2023年5月10日(水) 19時30分開催 ⑥テーマ：ファッションは創造的な対話『わたしと『花椿』』刊行記念トークイベント 日 時：2023年5月21日(日) 14時30分開催 ⑦テーマ：「TEN」プロジェクト ―10年着ることがかっこいい― 日 時：2023年6月7日(水) 19時開催 ⑧テーマ：ジャン＝ポール・ゴルチエ アートとの関わり 日 時：2023年6月14日(水) 19時30分開催 ⑨テーマ：「かえる」 日 時：2023年7月17日(月・祝) 15時開催 ⑩テーマ：AIによるデザイン制作の現時点 日 時：2023年7月26日(水) 19時30分開催 ⑪テーマ：脳フェスで誕生!!片麻痺用バックパック yocatta TOKYO「SIDE MY LIFE」ができるまで 日 時：2023年8月2日(水) 19時30分開催

活動結果	⑫テーマ：ファッションのアーカイブ談義 Archive Store、ファッション展企画の視点から 日 時：2023年 8 月24日(木) 20時15分開催 ⑬テーマ：五泉産地の可能性 産地の現況（国内回帰か）、ファクトリーブランド、五泉ニットフェスに関しても 日 時：2023年10月24日(火) 18時開催 ⑭テーマ：FMB、TFLのメンバーと語るデジタルファッション・ミートアップ 日 時：2023年11月23日(木・祝) 15時開催 ⑮テーマ：白による創造性の再解釈 ―20世紀以降の建築、芸術、ファッションの事例を中心に― 日 時：2023年12月 7 日(木) 19時開催 ⑯テーマ：ラフォーレ、原宿、ファッション雑誌～HARAJUKUイメージの近現代～ 日 時：2023年12月19日(火) 19時開催 ⑰テーマ：andu amet（アンドゥアメット） B Corpの旅 日 時：2023年12月27日(水) 19時開催 ⑱テーマ：アート講座③ アニッシュ・カプーア 人間存在そのものに潜んでいる情動 日 時：2024年 1 月21日(日) 14時開催 ⑲テーマ：確定申告のいろは 日 時：2024年 2 月15日(木) 19時30分開催 ⑳テーマ：持続可能な循環型繊維製品エコシステムを目指すためのEUのアクションプラン 日 時：2024年 2 月27日(火) 19時開催 ㉑テーマ：アート講座④ 山縣良和と綴るファッション表現のかすかな糸口 日 時：2024年 3 月 8 日(金) 19時開催 ㉒テーマ：「MITTAN」“永く続く服” 作り 日 時：2024年 3 月21日(木) 19時開催
	活動予定
	今後もFashionStudies®（ファッションスタディーズ）との共催を予定

研究部会名	デジタルテキスタイル研究部会
部会長/代表	城田 衣
メンバー	16名
活動結果	2023年 8 月 Digital Textile Conference開催 参加者 計107名（リアル77名オンライン28名） 2024年 2 月 オンライン講演会「デジタルテキスタイルアカデミー基礎編」開催 参加者47名（オンラインのみ） 2024年 3 月 Digital Textile Conference開催 参加者88名（リアルのみ）
活動予定	2024年 8 月及び2025年 3 月に講演会を開催予定

研究部会名	ファッションロー研究部会
部会長/代表	関 真也
メンバー	約20名
活動結果	2024年3月7日(木)「ブランド名・ファッションデザインの権利保護について」 (https://www.fbsociety.com/event/2024/event_20240307.html)
活動予定	適宜検討予定

研究部会名	FashionGood研究部会
部会長/代表	山口 大人
メンバー	13名
活動結果	下記の通りイベントを実施いたしました。 ①FashionGood lab.#012 「義肢装具の世界」 開催日：3月9日(木) 開催時間：19時30分～21時（延長の場合21時15分） 開催時間：オンライン（ZOOM：ミーティング形式） 主催：ファッションビジネス学会FashionGood研究部会 共催：NPO法人ユニバーサルファッション協会 ②FashionGood lab.協力イベント 武蔵野市男女共同参画フォーラム2023 団体公募企画 ひとりひとりの選択が尊重される社会と女性のエンパワーメント ジェンダー平等と女性活躍推進について 日時：2023年6月25日(日) 13時00分～16時30分（開場12時30分） 会場：成蹊大学6号館301教室 主催：武蔵野市 企画運営：フェアトレードむさしの 協力：武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会、成蹊学園サステナビリティ教育研究センター、FashionGood lab. ③FashionGood lab.#013 FRW特別企画 「ソーイング竹内から学ぶ縫製工場のサステナビリティ」 開催日：4月25日(火) 開催時間：19時30分～21時00分 開催方法：オンライン（ZOOM：ミーティング形式） 主催：ファッションビジネス学会FashionGood研究部会 ④FashionGood lab.#014 FRW特別企画 ファッションと労働 ー持続可能なサプライチェーンを地に足をつけて考えるー 開催日：4月28日(金) 開催時間：19時00分～21時35分 開催方法：オフラインとオンライン（ZOOM）のハイブリッド開催 主催：ファッションビジネス学会FashionGood研究部会

活動結果	⑤FashionGood lab.#015 『服を売らないアパレルブランドの「なぜ？」』 開催日：8月3日(木) 開催時間：19時30分～21時00分 開催方法：オンライン（ZOOM：ミーティング形式） 主催：ファッションビジネス学会FashionGood研究部会 ⑥FashionGood lab.#016 「衣料サイズJIS改正 ―新JISにおける変化と期待―」 開催日：11月24日(金) 開催時間：20時00分～21時30分（延長の場合は21時45分まで） 開催方法：オンライン（ZOOM：ミーティング形式） 主催：ファッションビジネス学会FashionGood研究部会 共催：NPO法人ユニバーサルファッション協会、ファッションビジネス学会ユニバーサル・ファッション研究部会 ⑦FashionGood lab.#017 「Adaptive Fashion ―第1回関西学生アダプティブファッションショーの観点から―」 開催日：3月12日(火) 開催時間：20時00分～21時30分（延長の場合は21時45分まで） 開催方法：オンライン（ZOOM：ミーティング形式） 主催：ファッションビジネス学会FashionGood研究部会 共催：NPO法人ユニバーサルファッション協会、ファッションビジネス学会ユニバーサル・ファッション研究部会
活動予定	イベント活動を継続しながら、研究部会として行う研究テーマについて模索していきます。

研究部会名	リテール・ビジネスデザイン研究部会
部会長/代表	五月女 由紀子
メンバー	6名
活動結果	◇2019年～2023年 中国オンライン市場について MARK STYLER株式会社 海外事業本部との共同研究としてアンケート調査等を実施継続中。 ◇2023年8月：ファッションビジネス学会論文誌（Vol.28） 「中国オンライン市場における消費者コミュニティとコミュニケーションの独自性」 ◇2023年9月：上海にて MARK STYLER株式会社と市場調査と中国のSNSとEC戦略打ち合わせ ◇2023年11月：FB学会2023年全国大会 東日本支部・研究部会代表 5年間の研究について代表（五月女）より口頭発表 ◇2024年3月 2024年度以降の研究の方向性を討議（杉野学園内） 従来の中国のデジタルとリテールの研究は続行するが、「ファッションテック研究部会」と名称変更をして研究範囲を拡大していくこととした。 ファッションビジネスにおける生成AIについてのテーマも加えていく。 メンバーを増やして新たに進める予定としている。

活動予定	◇2024年5月：勉強会① テーマ：生成AI（画像・テキスト）等の技術革新により、今後のファッションビジネス業界変化と実際のアパレル企業やその他業界の動向の調査報告。 ◇2024年夏：勉強会② テーマ：生成AIと日本のファッション教育の活用事例（杉野服飾大学の事例） 中国の生成AIの活用事例との比較 ◇2024年11月：ファッションビジネス学会 全国大会での口頭発表（予定） ◇2024年冬：勉強会③ 論文等に執筆する準備とまとめ
------	--

研究部会名	ラグジュアリービジネス研究部会
部会長/代表	篠崎 友亮
メンバー	14名
活動結果	研修会① テーマ：メンバーによる顔合わせ 日 時：2024年1月12日(金) 19時 研修会② テーマ：研究部会メンバーによる発表 ・日本の伝統産業におけるラグジュアリー化の試み 発表者 菊地 耀仁 ・Luxury 業界におけるCSRへの取り組みと発信のあり方に関する研究 発表者 舟引 美咲 日 時：2024年3月5日(火) 18時30分
活動予定	数か月に1度、研究会開催 FashionStudies®（ファッションスタディーズ）との共催

■関西エリア 5研究部会

研究部会名	ファッションビジネスカリキュラム研究部会
部会長/代表	岩崎 一哉
メンバー	3人
活動結果	外部講師による特別講義 4月・ファッションのDX化、フランテイング、ファイナンスの理解 5月・問題解決型ビジネスプランの立案 6月・ブランド構築におけるAIの活用 7月～9月・長期運営店舗およびオリジナルブランドの販売促進 10月～翌3月・グループワークおよび企業コラボ
活動予定	外部講師による特別講義 4月・メタバース・生成AIに関する知識 5月・問題解決型ビジネスプランの立案

活動予定	6月・ブランド構築におけるメタバース・生成AIの活用 7月～9月・長期運営店舗およびオリジナルブランドの販売促進 10月～翌3月・グループワークおよび企業コラボ
------	--

研究部会名	ファッションデザイン研究部会
部会長/代表	山田 浩之
メンバー	2名
活動結果	【テーマ】 ファッションデザインのトレンド感性国際化カリキュラムの研究 「国際化カリキュラム」開発は従来のファッション教育に加えて各国の文化や個性を底辺に据える必要がある。知識の伝達だけでなく体感、体得すべき内容にしなくてはならず、感性に訴えかける教育方法と言える。これら感性教育を検証し、服飾教育の国際化を図る。 世界のファッションシーンはめまぐるしく変化しており、それに伴い服飾に向けられる美意識も変化する。ファッション市場の変化に対応したファッション美意識は流行、地域、風俗、年齢、性別、目的、国などの様々な要因により大きく揺れる。ファッションビジネスの動向や世界のトレンド、カルチャー等、その時代の流れに沿った美意識が認識できるような感性を芽吹かせる教育が必要である。感性（センス）は先天的な、もしくは生活の中で育つとされるが、様々な国の文化やファッション業界を取り巻く環境要因をひもとき、理解を促す感性教育で時代にそくした感性が育つと考える。 一連の交流でフランスと日本の思考の違いが浮かび上がった。互いの思考方法を理解して補完する事により世界で活躍できる人材育成ができると考える。お互いの文化や思考方法をさらに研究して交流し、国際化カリキュラムを積み重ね洗練することがグローバルに活躍できる人材育成になる。2023ファッションビジネス学会 本部主催 30周年記念 全国大会 11/18(土)でポスタープレゼンを行った。
活動予定	リサイクルの服や素材の再構成を通じて持続可能性を促進し、廃棄物削減、資源の効率的利用、地域コミュニティの結束を促進するための研究を行う。 1. 廃棄物削減 古着の再構成は、着なくなった服を捨てる代わりに再利用するため、廃棄物の量を減らすことができる。これにより、環境への負荷を軽減し、持続可能な廃棄物管理を推進する。 2. 資源の効率的利用 リサイクルの服や素材の再構成は、既存の資源を再利用することで、新たな原材料の採掘や生産を減らす。生産に関連するエネルギーや水の消費、および環境への負荷が軽減される。また、リサイクルの服や素材の再利用は、繊維産業における化石燃料の使用量を削減する効果がある。 3. 地域コミュニティの結束 再構成プロジェクトは、地域の人々や組織を結集し、共通の目標に向けて協力する機会を提供できる。地域の工芸やデザインのスキルを活用して、地域の経済を支援し、地域コミュニティの結束を促進可能となる。また、このようなプロジェクトは地域の文化やアイデンティティを強化し、地域社会の連帯感を高めることができる。

研究部会名	ファッションマーケティング論研究会
部会長/代表	早川 雅明
メンバー	7名
活動結果	今年度は研究部会ワークショップを6回開催した。第1回ワークショップは対面会議で始めたが、その後は新型コロナ禍が常態化し、テレワーク会議となった。 年間ワークショップ 第1回：5月20日 第2回：7月23日 第3回：9月28日 第4回：11月16日 第5回：12月14日 第6回：3月21日 本研究部会は1996年（平成8年）設立、第1期ワークショップから今日、第22期を迎える。 11月の本学会全国大会にて上述の創設（1996年）から今日（2023年）第22期までの「ファッションマーケティング論研究会の変遷と今後の展望」をまとめ、集約し、発表・報告した。
活動予定	本研究部会は「消費者研究グループ」と「ファッション情報研究グループ」で構成され、2024年度の研究方向並びにその概要は ○消費者研究グループ 2023年度全国大会にて発表した「若者の消費動向について」を更に発展させ、D2Cビジネスに注目し、若者（Z世代）の消費動向の変容行動を考察、研究していく予定。 ○ファッション情報研究グループ ニューノーマルの中でのファッション企業、消費動向の変容行動を軸に考察、研究しているが、更に深める研究の軸線として新年度はECビジネスの消費者から見たアンケート調査等を活用した考察、研究をしていく予定。

研究部会名	和文化ファッション研究部会
部会長/代表	伊藤 信子
メンバー	5名
活動結果	全体的なテーマとして「きもの普及活動」を目的とし、きもの離れを検証 4～5月・活動内容の検討と具体的実施について 「講習会より きものに触れ、意見交換」 6～9月・大学、高校、一般 対象の着付け講習会の実施と意見の交換会を行う 無料の出張着付けや大学などでの公演 11月・きものショーにおいて衣装提供と着付けを行う 12月～1月・活動内容のまとめ 意見交換会などから今後について検討会
活動予定	前年度のまとめより「誰もが簡単に着装できる」をテーマとし、研究を進める 6～9月・きもの普及 講習会の実施 7～8月・サンプル作りの検討予定

研究部会名	ファッション経営学 カリキュラム研究部会
部会長/代表	平野 大
メンバー	7名
活動結果	ファッション商業論カリキュラム研究会では、企業や大学、専門学校などの枠を越えて実践的に役立つ総合ファッション教育カリキュラムの検証やファッションテクノロジー、ファッションAIのカリキュラムについての業者間との提携、実務家教員の学び方教育、リカレント教育のカリキュラムなどの新ファッション教育カリキュラム提案に向け、メンバー同士が連携し、研究活動を行った。 第1回オンラインワークショップ開催 2023年4月22日(土) 第2回オンラインワークショップ開催 2023年8月16日(水) 第3回オンラインワークショップ開催 2024年1月20日(土) 2024年4月より「ファッション商業論カリキュラム研究会」から「ファッション経営学カリキュラム研究会」に名称変更した。研究内容も見直し検討を行い、リカレント教育の仕組みと、ジョブ型カリキュラム、本部との連携などについての役割変更、メディアマネジメント、テクノロジーマネジメント、コーポレートマネジメントについて行うことが検討された。
活動予定	「ファッション商業論カリキュラム研究部会」から「ファッション経営学カリキュラム研究部会」に名称変更したために研究予定内容を以下のように変更した。 現在のファッションビジネス教育は、基礎知識論や応用論においてはすでに確立されているが、「上位概念」となる「ファッションマネジメント（ファッション経営学）」教育は、いまだ国際標準に達していないのが実情であると考ええる。 したがって、この度「研究者ファースト」を理念としている本部の研究委員会で提案された「ジョブ型カリキュラム案」をもとに、連携型の合同研究をおこなう。 具体的な研究としては「メディアマネジメント」「テクノロジーマネジメント」「コーポレートマネジメント」という3つのテーマに取り組み、本部の研究委員会で企画されている、2025年度セミナー実施（リカレント教育）を目指す。

【東日本支部】

支 部 長：中 村 賢二郎

運営委員長：鈴 木 康 久

事 務 局：守 屋 知 江

1 会員数 個人会員93名 学生会員19名 法人賛助会員 2 社

2 2023年度の主な活動報告

(1)第22回東日本支部定期総会並びに講演会及び交流会

日 時：2023年 5 月20日(土) 13:00～16:00

場 所：学校法人杉野学園 第二校舎 小ホール

①定期総会

第 1 号議案 2022年度 事業報告並びに決算承認の件

第 2 号議案 2023年度 事業計画並びに予算承認の件

第 3 号議案 役員改選

第 4 号議案 その他

②講演会

講演者：寺井 孝夫 氏

Jフロントリテーリンググループ 株式会社大丸松坂屋百貨店 本社
ブランディング戦略室長 兼 営業本部営業企画部部長VMD担当

テーマ：主題「変わりゆくリアル店舗の存在意義、変わらないVMDの概念」

副題 環境配慮型VMD表現へのチャレンジ

③交流会

場 所：学校法人杉野学園 本校舎地下食堂

(2)2023 ファッションビジネス学会 30周年記念 全国大会

日 時：2023年11月18日(土)

場 所：本部 学校法人文化学園 対面式開催

東日本支部より 口頭研究発表 9 報（内：学生会員 2 報）

研究部会発表 1 報 発表

(3)2023年度 合同研究発表会・講演会及び交流会

日 時：2024年 2 月24日(土) 13:00～16:00

場 所：学校法人杉野学園 第二校舎 小ホール

①講演会

講演者：旭化成株式会社 ライフイノベーション事業本部
コンフォートライフマーケティング室 様

テーマ：主題「旭化成ベンベルグの伝統と未来」

副題 サステイナブルな生活創造と技術革新

②研究発表 1 報

発表者：羽賀 友美 杉野服飾大学 講師

山川 智子 杉野服飾大学 講師

テーマ：「ファッション3DCGモデリングと
実物サンプルの差異分析・改善策について」

③交流会

場 所：学校法人杉野学園 本校舎地下食堂

(4)2022年度 講演論文集No.17発行（2023年 5 月20日）

3 東日本支部運営委員会

日 時：2023年 5 月20日(土) 11:00～12:00 学校法人杉野学園本校舎 2 階会議室

日 時：2024年 2 月24日(土) 11:30～12:00 学校法人杉野学園本校舎 2 階会議室

【関西支部】

支 部 長：森 慈 郎
事 務 長：上 原 さと子

- 1 会員数 個人会員71名 学生会員 2 名 法人賛助会員 6 社
- 2 2023年度の主な活動報告
 - (1)関西支部役員会
2023年 6 月19日(月)
 - ①定例役員会
1 号議案 2022年度 関西支部活動報告・収支決算報告
2 号議案 2023年度 関西支部活動計画
 - (2)ファッションビジネス学会2023全国大会
2023年11月18日(土) 学校法人文化学園
関西支部研究発表 口頭発表 7 報 展示 2 報
 - (3)関西支部役員会
2024年 3 月 2 日(土) オンライン会議
 - ①定例役員会
1 号議案 2023年度 関西支部活動報告
2 号議案 2023年度 研究部会の活動報告
3 号議案 2024年度 関西支部活動計画
4 号議案 2024年度 収支予算
5 号議案 2024年度 研究部会の活動計画
6 号議案 2024年度 役員について
7 号議案 その他

【西日本支部】

支 部 長：坂 根 康 秀（学校法人山内学園理事長・香蘭女子短期大学学長）

事 務 局 長：岡 田 絵梨奈（香蘭女子短期大学ファッション総合学科）

1 会員数 個人会員41名 学生会員 0 名 法人賛助会員 0 社

2 2023年度の主な活動報告

(1)2023年度定例総会

①定例総会

日 時：2023年 6 月17日(土) 於：香蘭女子短期大学

1 号議案 2022年度事業報告・収支決算報告・監査報告

2 号議案 2022年度会費納入状況・会員異動状況

3 号議案 2023年度事業計画案・予算案

②主催事業

日 時：2023年 6 月17日(土) 於：香蘭女子短期大学

講 師：映画監督 三宅 流 氏

テーマ：「日本の美意識とファッション

～デザイナーmatohuを通してみえるもの～」

(2)2023ファッションビジネス学会全国大会（本部主催） 参加

日 時：2023年11月18日(土) 於：学校法人文化学園

口頭発表：3 報

ポスタープレゼンテーション：1 報

(3)共催事業

①夏季公開講座（オンデマンド開催）

日時：2023年 8 月 1 日(火)～ 8 月21日(月)

講師：香蘭女子短期大学ファッション総合学科 助教 角谷 由加里

・ A コース 【動画で学ぶパターン教室 ラッフルスリーブのブラウス・ワンピース】

・ B コース 【動画で学ぶパターン教室 ボリュームスリーブのブラウス・ワンピース】

②夏期講習会

・ 講座 A コース 【パターンメイキングテクニック】

日時：2023年 7 月27日(木)

講師：香蘭ファッションデザイン専門学校ファッションテクニカル科主任 野田部 寛之

・ 講座 B コース 【3D着装シュミレーションソフト「CLO」体験】

日時：2023年 7 月27日(木)

講師：(株)ユカアンドアルファオペレーター

・ 講座 C コース 【基本的なデザイン要素の描き方を学ぶ】

日時：2023年 8 月26日(土)

講師：ファッションイラストレーター 岡本 あずさ 氏

2023年度 収支決算報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

単位：円

科 目	金 額
I. 収 入 の 部	
会 費 収 入	3,776,000
研 究 会 ・ 講 習 会 収 入	0
論 文 誌 掲 載 料	330,000
雑 収 入	192,369
全 国 大 会 収 入	701,000
支 部 本 部 繰 入 金	525,333
当 期 収 入 合 計 (A)	5,524,702
前 期 繰 越 収 支 差 額	11,896,023
収 入 合 計 (B)	17,420,725
II. 支 出 の 部	
管 理 費	
本 部 ・ 支 部 分 担 費	525,333
旅 費 交 通 費	85,839
通 信 費	19,501
印 刷 費	22,505
事 務 用 品 費	136,925
雑 給 与	1,608,000
雑 費	7,920
管 理 費 合 計	2,406,023
事 業 費	
学 会 誌 ・ 論 文 誌 発 行	592,119
全 国 大 会 費	1,332,537
研 究 部 会 費	84,215
総 会 費	166,250
講 演 会 費	140,878
会 議 費	110,375
企 画 運 営 費	918,810
賛 助 会 費	50,000
書 籍 費	1,782
事 業 費 合 計	3,396,966
支 出 の 部 合 計 (C)	5,802,989
当 期 収 支 差 額 (A)－(C)	－278,287
繰 越 収 支 差 額 (B)－(C)	11,617,736

財産目録（本部・支部）

（2024年 3 月31日現在）

単位：円

科 目	現 金	普通預金	郵便振替貯金	合 計
本 部	34,046	525,827	8,529,458	9,089,331
東 日 本	16,439	587,509	1,495,900	2,099,848
関 西	0	0	0	0
西 日 本	0	428,557	0	428,557
合 計	50,485	1,541,893	10,025,358	11,617,736

貸 借 対 照 表

（2024年 3 月31日現在）

単位：円

資産の部		負債の部	
現 金	50,485		0
普 通 預 金	1,541,893	資本の部	
郵便振替貯金	10,025,358	繰 越 余 剰 金	11,617,736
仮 払 金	0	（当期余剰金）	
資 産 の 部	11,617,736	負 債 ・ 資 本 の 部	11,617,736

監査報告

ファッションビジネス学会定款第40条の規定により2023年度の決算報告について、帳簿・預金通帳・銀行残高証明書と照合の結果、期間の収支、期末における貸借対照表ともに適正に表示されていることを認めます

2024年5月1日

監事 雑 賀 透



第2号議案

2024年度 事業計画と予算承認の件

(2024年4月1日～2025年3月31日)

事業計画案

1 2024年度ファッションビジネス学会全国大会の件

2024年度ファッションビジネス学会全国大会は、関西支部主催として以下の予定で実施する。

開催予定 2024年11月16日(土)

2 論文誌発行

デジタル版のVol.29を2024年5月中に発行、及びVol.30を2025年3月末に発行予定

3 FBアワードY2024

学生対象のファッションビジネス企画コンテスト「FBアワードY2024」の3年目、2024年5月の募集からオンラインによる最終審査会を8月3日に開催予定

4 研究発表及び研究会活動の充実と活性化

5 2025年度理事会・総会

2025年度理事会・総会・特別講演会を2025年5月中旬に開催予定

6 各支部の活動計画（支部主催を抜粋）

【東日本支部】

(1)第23回ファッションビジネス学会東日本支部定期総会並びに講演会及び交流会

日時：2024年5月25日(土)

(2)ファッションビジネス学会2024全国大会

日時：2024年11月16日(土) 於：関西支部

(3)2024年度 合同研究発表会・講演会及び交流会

日時：2025年2月22日(土)

(4)2023年度 講演論文集NO.18 発行 定期総会開催時に配布

(5)東日本支部運営委員会

定期総会開催日：2024年5月25日(土)

合同研究発表会開催日：2025年2月22日(土)

【関西支部】

(1)関西支部役員会

2024年6月17日(月) 上田安子服飾専門学校

定例役員会 1号議案 2023年度 関西支部活動報告・収支決算報告

2号議案 2024年度 関西支部活動計画

3号議案 2024年度 全国大会について

(2)ファッションビジネス学会2024全国大会

2024年11月16日(土) 大阪文化服装学院

(3)関西支部役員会

2025年3月 大阪文化服装学院

定例役員会・研究発表会

【西日本支部】

(1)2024年度ファッションビジネス学会西日本支部定例総会

2024年6月15日(土)予定 於 香蘭女子短期大学

①2023年度収支決算報告

②2023年度定期総会報告

③2024年度活動計画

(2)ファッションビジネス学会2024全国大会参加

(3)2024年度 主催事業

2024年6月15日(土)予定 於 香蘭女子短期大学

「ファッション教育とアパレル産業のこれから (仮)」

セミナー及び情報交換会の実施

(4)2024年度 共催事業

夏季公開講座

・8月「内容検討中：高校家庭科教員向け」

夏期講習会

・7月末 YUKA&ALPHA 3D CAD講習

講師：(株)ユカアンドアルファオペレーター (調整中)

・7月末 胸グセダーツの処理

講師：野田部 寛之 氏

香蘭ファッションデザイン専門学校 ファッションテクニカル科主任

・7月末 ファッションイラストレーション講座

講師：ファッションイラストレーター 岡本 あずさ 氏

2024年度 予算(案)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

単位：円

科 目	予 算	2023年度決算
I. 収入の部		
会 費 収 入	4,046,000	3,776,000
研究会・講習会収入	150,000	0
論文誌掲載料	350,000	330,000
雑 収 入	250,000	192,369
全国大会収入	400,000	701,000
支部本部繰入金	550,000	525,333
当期収入合計	5,746,000	5,524,702
前期繰越収支差額	11,617,736	11,896,023
収 入 合 計	17,363,736	17,420,725
II. 支出の部		
管 理 費		
本部・支部分担費	550,000	525,333
旅 費 交 通 費	146,000	85,839
通 信 費	20,000	19,501
印 刷 費	46,000	22,505
事務用品費	140,000	136,925
雑 給 与	1,750,000	1,608,000
雑 費	50,000	7,920
管理費合計	2,702,000	2,406,023
事 業 費		
学会誌・論文誌発行	600,000	592,119
全国大会費	800,000	1,332,537
研究部会費	90,000	84,215
総 会 費	170,000	166,250
講演会費	200,000	140,878
会議費	120,000	110,375
企画運営費	1,000,000	918,810
賛助会費	50,000	50,000
書籍費	10,000	1,782
事業費合計	3,040,000	3,396,966
支出の部合計	5,742,000	5,802,989
当期収支差額	4,000	-278,287
繰越収支差額	11,621,736	11,617,736

第3号議案

2023年度活性化活動報告と2024年度計画の件

2021年度に立ち上げた活性化5ヵ年計画の中で編成された以下の5委員会における活動報告と計画/組織について別途資料にて報告する

- ◇総務委員会
- ◇論文審査委員会
- ◇研究委員会
- ◇国際交流委員会
- ◇企画広報委員会
 - イベント企画分科会
 - 情報誌・図書編集分科会
 - ホームページ・プレス分科会

その他の計画

活性化における学会運営について、以下のとおり運営改善検討会議にて検討する

テーマ：ファッションビジネス学会の運営改善

検討内容：・事務の効率化

・研究活動の活性化

・本部および支部機能の見直し

メンバー：会長、副会長、専務理事、常務理事、本部事務局長、各支部長/支部委員（11名）

総務委員会 2023結果および2024計画・組織

組織 計6名 *順不同・敬称略

メンバー	氏 名	支部	理事/会員	所 属
委員長	鈴木 康久	東日本	理事	杉野服飾大学
事務長	市川 智美	本部	会員	文化ファッション大学院大学
委員	櫛下町 伸一	本部	理事	文化ファッション大学院大学
委員	増田 大助	本部	常務理事	
委員	播岡 充	関西	会員	大阪文化服装学院
委員	岡田 絵梨奈	西日本	会員	香蘭女子短期大学

活動報告

目 標	活性化の一環で、本部事務局と理事会、総合運営会議、委員会/分科会と連携して学会をアピール、5カ年で会員（正会員・学生会員・賛助会員）の倍増を目指す。 正会員および学生会員、賛助会員獲得のため、総務委員会で精査・検討したものを、理事会および総合運営会議、各委員会において具体的に実施していく。
2023結果	■開催について - 本年度は年間で3回の委員会を開催となった。各委員の在籍地の問題もあり、全3回の開催については、いずれもZOOMによるオンライン開催となった。 - 第一回総務委員会 2023/6/30(金) 17:30～19:00 - 第二回総務委員会 2023/10/2(月) 17:30～19:00 - 第三回総務委員会 2024/2/27(火) 17:30～19:00 ■各回の主要議題 - 各回の主要議題については以下の通りとなっている。 《第一回総務委員会》 - 委員会メンバー確認、昨年度活動報告、新年度、グランドスケジュール確認 総務委員会スケジュール、情報共有（総合運営会議、理事会）、会員増加策について 《第二回総務委員会》 - 第一回議事録確認、情報共有（総合運営会議、理事会）、会員増加策について 意見交換 各支部・各委員として情報共有、全国大会について、今後のスケジュール 《第三回総務委員会》 - 第二回議事録確認、情報共有（総合運営会議、理事会）、会員増加策について 意見交換 各支部・各委員として情報共有、全国大会を終えて、年度末及び次年度に向けて

2023結果	■本年度活動のポイント ・本年度活動のポイントは以下の通りである。 ●総務委員会にて「学会員増加計画」を会員属性別（個人、学生、賛助）の計画案として作成し、またその運用に関連した問題点の抽出を行い、学会の大命題となる会員増加策として第二回総合運営会議および理事会に向けて提言を行った。 ●委員会の特性を有効に機能させるために、学会全体を統括的に把握する必要があることから広く情報共有を図る事に注力し、その共有に時間を割きながら各支部の情報の質の共通化に努めた。 ■活動成果と問題点 ・本年度の活動成果と問題点については以下の通りである。 ●学会の命題となっている会員増加策を総務委員会として議論を重ね、計画案を策定し、学会に対して提言できた事は今後に繋がる成果と言える。一方で、即応性のある具体的な実行計画に繋がっていない点については今後に向けた積み残し課題となる。 ●各支部等の置かれている状況の違い、委員会メンバーの所属組織の属性によって学会活動の意義、そのプライオリティの違いは当然ながら存在しており、学会総体として考察していく必要がある。
2024計画	■2024年度活動計画 ・具体的な活動計画として以下の四点を掲げたい。 ①各支部相互の情報共有と各所属組織内における情報の拡散。 ②各支部一本化計画を含めた運営改善について有機的に関与していく。 ③作成した会員増加策のアップデートを図り、更に具体的なアクションプランに繋がる活動計画を組み上げ、第三回総合運営会議にて提言していく。 ④その他FB学会の活動及び発展に有効な外部情報の収集と共有。

以上

論文審査委員会 2023結果および2024計画・組織

組織 計4名 *順不同・敬称略

メンバー	氏 名	支部	理事/会員	所 属
委員長	砂長谷 由香	本部	理事	文化学園大学
事務長	井口 彰子	本部	会員	文化学園大学
委員	熊谷 伸子	本部	会員	文化学園大学
Web 相談役	安田 和史	本部	理事	(株)スズキアソシエイツ／法政大学

活動報告

目 標	学会活性化の一環によりスタートした論文のデジタル版により、論文投稿の促進とコストの削減および作業効率の向上をはかる。
2023結果	・デジタル版2023年度 vol.29号の発行に向けた査読・編集作業を進めた。 *投稿数は論文9報、研究ノート1報の計10報であったが、査読の結果、論文6報、研究ノート1報、取り下げ3報となった。 ・デジタル版発行に際し、委員会で以下を見直し実施した。 *査読期間確保に伴い投稿原稿提出締切日を8月末日としたことで、査読審査期間を確保することが出来た。 *査読者は、vol.29より投稿原稿に対して各3名としたことから、査読結果の判断の期間の短縮ができた。 *しかし、査読返却の遅れにより作業が難航した事例もみられた。 ・今後の検討事項 *査読審査に伴う検討が必要な案件が発生した場合、具体的な対応方法を事務局ならびに会長と共に検討したい。
2024計画	・上記の今後の検討事項等を踏まえVol.30の発行に向けて、引き続き改善点を挙げ見直しを行う。

以上

研究委員会 2023結果および2024計画・組織

組織 計5名 *順不同・敬称略

メンバー	氏 名	支部	理事/会員	所 属
委員長	青木 稔	本部	会員	文化ファッション大学院大学
事務長	鶴 鉄雄	関西	会員	上田学園
委員	五月女 由紀子	東日本	理事	杉野服飾大学
委員	平野 大	関西	会員	国際ファッション専門職大学
委員	岡田 絵梨奈	西日本	会員	香蘭女子短期大学

活動報告

目 標	本委員会は学会活性化の見地から、研究者ファーストをテーマに日本の専門職教育の体系化に役立てることに重点を置きながら、国内外の文献研究とファッション企業の事例研究を組み合わせる研究していく。ファッションAI時代を生き抜くことができる教育カリキュラムの開発が急務となっている現在、本研究会では国際標準に向けて、日本のファッションビジネス教育カリキュラムを研究し学会で提案していく。
2023結果	2023年度に計画した以下の項目についてはクリアできた。 本研究は現状分析と問題解決への方向性を合理的に研究するため、グループを2つに分け、各グループで必要に応じて個別研究を実施していく方法をとった。全体委員会に関しては、計3回開催（ZOOM）し全体調整をおこなった。 〈2023計画項目と報告〉 ①初年度と同様に研究ファーストをテーマに活動 ②2023年度の学会情報誌に報告書として掲載「GAKKAI PRESS vol.3に掲載済み」 ③2023年11月の全国大会にて学会発表 【5クール：13:00～】 ファッション専門職教育に関する一考察1（研究委員会報告） —企業の採用状況から分析する修士号・博士号取得者に関するジョブ型雇用の重要性— 発表者は、山本 ひとみ、平野 大、岡田 絵梨奈 【6クール：13:30～】 ファッション専門職教育に関する一考察2（研究委員会報告） —海外の文献分析と産学官連携事例から考察する日本のジョブ型カリキュラム案— 発表者は、鶴 鉄雄、山本 ひとみ 共同研究者は青木 稔、五月女 由紀子 *敬称略

2023結果	〈2023年度研究の総合結果〉 まず、「企業の採用状況から分析する修士号・博士号取得者に関するジョブ型雇用の重要性」の研究により、グローバルスタンダード時代における企業側の修士号・博士号取得者への雇用ニーズが高まってきていることが明らかとなった。（特に外資系の中途採用） この分析に基づき、「海外の文献分析と産学官連携事例から考察する日本のジョブ型カリキュラム案」の研究では、ファッション経営におけるビジネスプロセスを学術的に体系立てた「上位概念」の基準がいまだに確立されていないことも明らかとなった。したがって、本研究の最後に国際標準レベルを目指した「ジョブ型カリキュラム案」を提案した。 以上の研究成果から明らかになった事は、外資系企業が求める人材を育成する教育機関が日本にほとんど存在しないということである。それゆえ、グローバル化と持続的な成長を支えるための教育機関の統合やジョブ型カリキュラムの推進が急務である。そして、国内外のファッション企業の成長に必要な人材育成を、リカレント教育含めて実行することが重要だと考えられる。そのためには、まず最初にその教育を指導する教員、つまり研究者の質向上から取り組むことが重要である。現在、日本の大学ではファッションビジネスに特化した修士、博士号の取得が困難であるため、学生や研究者は経済学、経営学の修士、博士号を取得せざるを得ない。したがって、ファッションビジネスに関する実践的な学問を修士、博士レベルで学ぶためのリカレント教育の仕組みが必要である。今後、学生や研究者がジョブ型就職環境に参加できるような体制を、産学連携を通じて構築することが求められる。そのために、FB学会がその役割を果たせるよう提案したいと考えている。
2024計画	2023年度の研究で「ジョブ型カリキュラム案」が提案できたため、2024年度は関西支部の「ファッション経営学カリキュラム研究会」と連携する形で合同研究を行うこととする。 まずは体的な研究としては「デジタル・ファッションメディア・マネジメント」「ファッションテクノロジー・マネジメント」「ファッションコーポレート・マネジメント」という3つのテーマに取り組み、「マネジメント」レベルの教育内容を構築する。さらに、研究発表した「リカレント教育の仕組み案」を実現するためのステップとして、最初にジョブ型カリキュラムに基づいた「マネジメント教育セミナー」をスタートさせ、参加者の意見を参考にしながらリカレント教育の構想を練り上げることとする。

以上

国際交流委員会 2023結果および2024計画・組織

組織 計7名 *順不同・敬称略

メンバー	氏 名	支部	理事/会員	所 属
委員長	五月女 由紀子	東日本	理事	杉野服飾大学
事務長	松岡 依里子	本部	理事	国際ファッション専門職大学
委員	上田 哲也	関西	理事	上田学園理事長
委員	中村 茂	本部	理事	元神戸松蔭女子学院大学
委員	土屋 淳二	本部	理事	早稲田大学
委員	Francesco Formiconi	本部	会員	ディーゼルジャパン
委員	菊田 琢也	本部	会員	昭和女子大学

活動報告

目 標	ファッションおよびファッションビジネスに関係のある海外および国内の学会・学者・書籍・論文・文化・価値観など様々な情報の収集、発信、交流に務めることで、学会員の活性化に寄与する
2023結果	*2022年度はアフターコロナであるため、コロナ流行期間中の国際交流が難しかったこともあった。そのような中でも、これまでの国際交流の成果を発表してもらった。「フランスIFMのファッション教育について」と題して、中村先生にリモートでパリ・ファッションについて講演いただいた。フランスにおける、ファッション産業と政府、関連産業、教育機関との強い連携、そして大学やシンクタンクとの連携によって、社会・歴史・文化・哲学との関連を深く探求する方向性も見られることが述べられた。ソルボンヌ大学の博士課程との連携などが注目される。
2024計画	*2023年度については、本委員会における議論をさらに深めるためには、国際交流委員会の目的と方法を明確にする必要があると思われる。国際交流委員会でどのような議論をすべきか。また日本のファッションビジネスの活性化のために、どのような国際交流をすべきかを議論すべきか。インドが世界一の人口になると言われるように、国際的な市場のあり方に大きな変化が予想される。どのような国の市場について情報収集すべきか議論しアクセスすべきか研究する必要があるだろう。

以上

企画広報委員会 イベント企画分科会 2023結果および2024計画・組織

組織 計8名 *順不同・敬称略

メンバー	氏 名	支部	理事/会員	所 属
委員長	福永 成明	東日本	理事	ファッションリンクス
分科会長	平井 秀樹	本部	理事	国際ファッション専門職大学
事務長	内海 里香	本部	理事	文化ファッション大学院大学
委員	山口 大人	本部	理事	MASATOYAMAGUCHI DESIGNOFFICE 代表／デザイナー
委員	山岡 真理	本部	会員	文化ファッション大学院大学
委員	播岡 充	関西	会員	大阪文化服装学院
委員	木村 千晶	東日本	会員	杉野学園ドレスメーカー学院
委員	杉浦 佳苗	本部	会員	文化学園大学

活動報告

目 標	活性化の一環として、主として学生・新規会員の獲得・会員メリットの訴求・会員の研究活動に資するイベントの企画運営を行う
2023結果	・夏休み8月と春休み3月の年間計2回、産地研修を実施 →8/21(月)・22日(火)：滋賀県東近江産地、2024.3/25(月)・26(火)：群馬県桐生産地の産地研修を実施。8月の東近江研修では、柿渋染の工房、染色、整経（近江上布）、製織等の事業所を見学した翌日に、各事業所の方々と東近江市商工会の方も交えて、ワークショップを行い、産地・各事業所が抱える様々な課題の解決方法に関して活発な意見交換を行った。 また、3月の桐生研修では、織物協同組合専務理事より織都：桐生の歴史と現況についてご講義頂いたのち、ハンドルミシンを使った手刺繍や生糸の工房、絹織、独自のジャカード織を開発している事業所などを見学した。桐生産地では、事業所見学だけでなく、機織りや座繰り、藍染めなどの体験も研修プログラムに取り入れたため、非常に好評を博した。 この産地研修ツアーは、2年目を終えた現在、参加動機は異なるものの、まづリピーターが多く、参加者同士の交流も活発化しており、この研修によって繋がった事業所と参加者の所属機関によるコラボレーションや参加者の個別研究テーマを踏まえての再訪が行われるなど、学会によるファッション知財の創造に対して確実に貢献、成果を生み出している。 ・夏休み8月に実施される学生アワードの運営サポート →学生アワードについては、2023年度からイベント企画分科会の手を離れ、本部で立ち上げる実行委員会による運営となっているが、イベント企画分科会の委員が、最終審査会で司会を務めたり、進行のお手伝いをしたりするなど、側面からの協力を行っている。 学生会員の増加、若者ならではのファッション知財の創造によるファッションビジネス学会の活性化は、委員会・分科会の枠に囚われることなく、組織の一員として取り組むべき課題と考えて活動を行った。

2024計画	・夏休み8月と春休み3月の年間計2回、産地研修を継続して実施予定。 →研修候補地としては①泉州、②八王子、③桐生（第2弾）などの名前が挙がっているが、現時点では未定である。2024年度は単に各産地の主要事業所の見学にとどまらず、ファッション産業の新技术（デジタルプリントなど）に関しても、研修先に組み込んでいく。また、企業や行政等とのディスカッションなども継続して行い、産地研修内容の一層の充実・質の向上に取り組んでいく。
--------	--

以上

企画広報委員会 情報誌・図書編集分科会 2023結果および2024計画・組織

組織 計6名 *順不同・敬称略

メンバー	氏 名	支部	理事/会員	所 属
委員長	福永 成明	東日本	理事	ファッションリンクス
分科会長	同上	同上	同上	同上
事務長	江良 智美	本部	会員	目白大学
委員	依田 素味	本部	理事	日本経済大学
委員	安田 和史	本部	理事	(株)スズキアンドアソシエイツ／ 法政大学
委員	平松 隆円	本部	会員	化粧心理学者／ 国際ファッション専門職大学
委員	渡邊 慶子	本部	会員	アトリアサボ

活動報告

目 標	論文誌と棲み分けしたうえで、学会関連の研究情報としてHPから発信。それによって会員の研究発表を拡充するとともに、内外に学会をアピールし、研究や入会を促進する。
2023結果	・10月に「GAKKAI PRESS」3号を発刊。 ・4号（24年4月発行予定）の編集作業。 ・編集内容（全国大会の基調シンポジウム、会員の研究発表、産地研修レポートなど）と編集費用について検討し、4号発行に向けての準備。 ・事務担当を再選し、委員編成と発信情報の内容を考慮した。
2024計画	・引き続き「GAKKAI PRESS」の内容を精査。 ・5号（10月発行予定）の編集内容の協議並びに編集作業。

以上

企画広報委員会 ホームページ/プレス分科会 2023結果および2024計画・組織

組織 計7名 *順不同・敬称略

メンバー	氏 名	支部	理事/会員	所 属
委員長	福永 成明	東日本	理事	ファッションリンクス
分科会長	依田 素味	本部	理事	日本経済大学
事務長	古田 賢	本部	会員	立命館大学大学院、わかさ生活
委員	竹花 友哉	本部	会員	杉野服飾大学
委員	舟引 美咲	本部	学生会員	東京大学大学院学際情報学府、Cartier
委員	城田 衣	本部	会員	FB学会デジタルレキスタイル研究部会
委員	岡本 慶子	東日本	会員	法政大学

活動報告

目 標	活性化の一環、デジタル化において学会ホームページを活用、PRを強化し、研究促進と会員増強を目指す。
2023結果	・2024年度は公募により新規分科会メンバー4名が新たに参加し、4回の分科会を開催した。 〈ホームページ〉 ・2021年11月に全面的なリニューアル以降2年が経過し、会員情報誌GAKKAI PRESSのHPアップ含め、2023年度も引続き安定して運用ができた。 ・リニューアル後は会員への案内通知を一斉メールと同時にHPにアップし、案内通知とアピールを強化した。 ・総会において、オンライン交流会をメタバース空間で実施し、会員間の交流を図ることができた。 〈プレス〉 ・2022年11月に開催した全国大会のPRと参加者増員を目的に、業界メディアや新規の学校等にプレスリリースを送付、結果として業界メディアでは織研新聞に結果が掲載された。 ・イベントや研究会など年間でホームページへの告知、おとび会員への一斉メール通知を57報行った。
2024計画	〈ホームページ〉 ・リニューアルから3年が経過するため、2024年3月総合運営会議の承認を経て、全体的なデザイン面のブラッシュアップを図る。 - 業者との打合せを実施して予算化し、理事会に提案する。 ・会員間の交流、新規会員獲得のために、学生サークルによるSNS活用の可能性など、引続き検討を行う。 ・リクルートなど会員メリットに通じる内容を検討する。 〈プレス〉 ・既存の業界メディアだけではなく、Webメディアやインフルエンサー、口コミなどを活用したPRを実施して、参加動員・入会の促進を図る。

以上

第4号議案

定款および運営内規の一部改訂について

定款および運営内規の部分的改訂を以下のとおりとする

ファッションビジネス学会定款

第4章 役員、顧問、および名誉会員

第20条 専務理事、常務理事

1. 専務理事は、会長、副会長を補佐して、業務を管掌する。
2. 常務理事は、会長、副会長、専務理事を補佐して、業務を管掌する。

ファッションビジネス学会運営内規

第4章 運営4委員会と研究委員会および任期

※任期は1期2年間とし、再任を妨げない。

第10章 付則

第22条 「運営内規」の改訂と施行

4. この運営内規は、2024年5月18日から施行する。

以上

第5号議案

役員並びに名誉会員(案)

2024年5月1日現在（敬称略）

会 長	岡 本 義 行	法政大学特任教授
副 会 長	山 本 ひ と み	神戸国際大学 経済学部 教授
理 事	依 田 素 味	日本経済大学大学院 エンターテインメントビジネス研究所 特任教授
	上 田 哲 也	上田学園理事長
	内 海 里 香	文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科 教授
	北 折 貴 子	杉野服飾大学 服飾学部 学部長
	櫛下町 伸一	文化学園理事 文化ファッション大学院大学 学長
	坂 根 康 秀	ファッションビジネス学会 西日本支部長
	佐々木 幸二	織研新聞社 代表取締役社長
	篠 崎 友 亮	ファッションビジネス学会 事務局長 FashionStudies®主宰
	首 藤 眞 一	文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科 ファッションマネジメント専攻 専攻長／ブランドニュース株式会社 代表取締役
	鈴 木 康 久	杉野服飾大学 服飾学部 教授
	砂長谷 由香	文化学園大学 教授
	五月女 由紀子	杉野服飾大学 服飾学部 教授
	土 屋 淳 二	早稲田大学 文学学術院 教授
	中 村 賢 二 郎	杉野学園理事長 ファッションビジネス学会 東日本支部長
	中 村 茂	元神戸松蔭女子学院大学教授・文化ファッション研究機構共同研究員
	萩 平 勉	一般財団法人ファッション産業人材育成機構 IFIビジネススクール 理事長
	早 川 雅 明	成安造形大学名誉教授
	平 井 秀 樹	国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部 教授
	福 永 成 明	ファッションビジネス学会 専務理事 ファッションリンクス代表
	増 田 大 助	ファッションビジネス学会 常務理事 元事務局長
監 事	松 岡 依 里 子	国際ファッション専門職大学 教授
	森 慈 郎	大阪文化服装学院上級顧問 ファッションビジネス学会 関西支部長
	安 田 和 史	株式会社スズキアンドアソシエイツ取締役 日本知財学会 事務局長 法政大学 理工学部／法学部 講師
	山 口 大 人	MASATO YAMAGUCHI DESIGN OFFICE代表 FashionGood lab.主宰 元NPO法人ユニバーサルファッション協会 理事長
	雑 賀 透	株式会社島精機製作所 東京支店 参事
名誉会員	尾 原 蓉 子	元WEF創設者・名誉会長 元IFIファッションビジネススクール学長
	小 山 田 道 弥	ファッション総研代表
	馬 場 彰	元日本ファッション協会理事長 元オンワードホールディングス名誉顧問
	二 丸 雄 策	元ファッションビジネス学会事務局長

ファッションビジネス学会 会員数の推移

(2024年 3月31日現在)

	個人会員	学生会員	計	法人賛助会員
2013年度	466名	25名	491名	20社
2014年度	463名	23名	486名	20社
2015年度	463名	28名	491名	21社
2016年度	446名	24名	470名	20社
2017年度	455名	15名	470名	19社
2018年度	447名	17名	464名	19社
2019年度	449名	18名	467名	17社
2020年度	462名	23名	485名	15社
2021年度	454名	29名	483名	15社
2022年度	436名	58名	494名	15社
2023年度	426名	58名	484名	15社

(年度末時点の会員数)

【2023年度内訳】

	個人会員	学生会員	計	法人賛助会員
本 部	221名	37名	458名	7社
東 日 本	93名	19名	112名	2社
関 西	71名	2名	73名	6社
西 日 本	41名	0名	41名	0社
計	426名	58名	484名	15社



The Japan Society for
Fashion Business

ファッションビジネス学会

■本部 〒151-8523
東京都渋谷区代々木3-22-1 文化学園内
MAIL : fbgakkai.1993@gmail.com

■東日本支部 〒141-8652
東京都品川区上大崎4-6-19 杉野服飾大学内
TEL (03) 3491-8151 FAX (03) 3491-2605
MAIL : fbeast@sugino.ac.jp

■関西支部 〒532-0005
大阪府大阪市淀川区三国本町3-35-8 大阪文化服装学院内
TEL (06) 6350-0317 FAX (06) 7508-3152
MAIL : info@kfcc-jp.com

■西日本支部 〒811-1311
福岡県福岡市南区横手1-2-1 香蘭女子短期大学内
TEL (092) 581-1538 FAX (092) 581-2200
MAIL : fb-nishi@g.koran.ac.jp